

環境経営レポート

【2023年7月1日～2024年6月30日】

発行日：2024年10月4日



有限会社 東海エンジニア

TOKAI
ENGINEER

目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6 (1) . 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	7
6 (2) . 実施体制	8
7 (1) . 環境経営目標の実績	9
7 (2) . 環境経営計画の取り組み結果とその評価	10
7 (3) . 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果	
並びに違反、訴訟などの有無	11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	12

1. 組織の概要

1、事業者名及び代表者名

有限会社 東海エンジニア
代表取締役会長 原田 龍馬

2、所在地

〒473 - 0922 愛知県豊田市高岡本町秋葉 3 番地 14

3、事業内容

- (1) 自動車設備専用装置・自動設備の設計・製造
- (2) 工場器具製作
- (3) 車両、機械設備輸送
- (4) 車両リース事業
- (5) 自動車特定整備事業

4、法人設立年月日

1990 年 1 月 26 日

5、資本金

500 万円

6、年間売上高

2 億 1,711 万円（2023 年度）

7、従業員数

10 名（2024 年 10 月 4 日現在）

8、延べ床面積（総面積）

724 m² （2921 m²）

9、環境管理の責任者と EA21 事務局

環境管理の責任者	取締役社長 西村 寛
EA21 事務局	総務部 寺澤 三峰
連絡先	TEL (0565) 52-8688 FAX (0565) 53-4905
	E-Mail h_nishimura@tokai-eng.com

10、許可書

建設許可番号 (一般 4) 第 71529 機械器具設置工事業

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

1. 組織

本社・工場：豊田市高岡本町秋葉 3 番地 14

2. 活動

- ・ 自動車設備専用装置・自動設備の設計・製造
- ・ 工場器具製作
- ・ 車両、機械設備輸送
- ・ 車両リース事業
- ・ 自動車特定整備事業

3. レポートの対象期間

2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

4. レポートの発行日

2024 年 10 月 4 日

3. 環境経営方針

基本理念

当社は「さらなる信用・信頼を」を企業理念とし、板金、溶接、ライン設備設計製作、自動車整備等の事業活動において、環境に影響する業務を認識し環境経営システムを構築・運用・維持することにより一人一人が環境保全活動を自主的・積極的に推進します。

基本方針

- 1、 当社に適用される環境関連法規、同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。
- 2、 次の事項について具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め、下記項目を重点に取り組みます。
 - (1) 節電推進に努め二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) エコドライブ推進に努め二酸化炭素排出量を削減します。
 - (3) 節水により水の使用量を削減します。
 - (4) 分別の徹底、リサイクルの推進により廃棄物排出量を削減します。
 - (5) 化学物質の適正管理に努めます。
 - (6) 生産方法改善により環境配慮に努めます。
 - (7) 地域社会とのコミュニケーション、地域活動に率先して参加します。
- 3、 環境経営において継続的改善に努めます。
全社員に環境経営方針を周知徹底し、環境保全活動を全社員で取り組みます。

制定日 2020 年 6 月 18 日

改定日 2024 年 10 月 4 日

有限会社 東海エンジニア
代表取締役会長 原田 龍馬

4. 環境経営目標

作成日 2023 年 6 月 28 日

作成者 西村 寛

項目		単位	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
			基準年	-2%	-3%	-4%
電力(工場)	使用量	kWh	24,409	23,921	23,677	23,433
	CO2	kg	11,032	10,811	10,701	10,591
電力(事務所)	使用量	kWh	7,192	7,048	6,976	6,904
	CO2	kg	3,250	3,185	3,153	3,120
灯油	使用量	L	879	861	853	844
	CO2	kg	2,188	2,144	2,122	2,100
ガソリン	使用量	L	6,884	6,746	6,677	6,609
	CO2	kg	15,970	15,651	15,491	15,331
軽油	使用量	L	1,965	1,926	1,906	1,886
	CO2	kg	5,069	4,968	4,917	4,866
都市ガス	使用量	m3	3	3	3	3
	CO2	kg	7	7	7	7
CO2	総量	Kg-CO2	37,519	36,769	36,393	36,018
水	使用量	m3	113	111	110	108
産業廃棄物	廃棄量	m3	6.2	6	6	6
一般廃棄物	廃棄量	m3	102	100	99	98
化学物質	-	・適正管理(保管・使用量)の徹底				
環境配慮した設計	-	・設計時、端材を少なくする設計を行う				
地域社会とのコミュニケーション	-	・朝の周辺活動はゼロの日(月 3 回)実施				

* 基準年度の数値は 2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日の実績値としました。

* 購入電力の CO2 排出量は中部電力(株)の平成 30 年度の調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWh を使用しました。

5. 環境経営計画

作成日 2023 年 6 月 28 日

作成者 西村 寛

取り組み期間 2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

1. CO2 の削減

1) 電力消費量の削減

①未使用時の OA 機器類の電源管理（環境管理責任者）

- ・長時間不在にする際はパソコン類の電源を切るよう各管理者に徹底させる
- ・パソコンの節電モード切替えまでの時間を短く設定する
- ・コピー機の節電モード切替えまでの時間を短く設定する
- ・テプラ等、必要時のみ利用の機器類に関しては、コンセントをはずして使用時まで保管する

②作業待機時電力の節電（環境管理責任者）

- ・必要最低限の換気以外は、換気扇の電源を切るようにする

③ 空調機温度設定の適正化（環境管理責任者）

- ・事務所内エアコン設定温度を冷房 28℃暖房 22℃に設定する
- ・エアコン電源付近に設定温度を記載した貼り紙をする
- ・作業を終了した機材は、コンセントを抜き、待機電力の消費がないようにする

2) 化石燃料消費量の削減（環境管理責任者）

①社用車の高効率配車

- ・業務開始前に、外出予定を関係者にて確認し、納品を一括して行う

②納品等による社有車稼働率の削減

- ・外注先並びに仕入れ先には、極力来社による納品を依頼し、緊急を要する場合等以外は注文品の受取にて社有車の稼働をさせないようにする
- ・外注先との打ち合わせ等は、電子メールを使用する

③アイドリングストップ

- ・アイドリングストップ、空ふかしをしないように、徹底する

④ 灯油使用量削減

- ・室温が 15℃以下の場合に灯油ストーブ使用する。

2. 水使用量の削減（環境管理責任者）

① 水道バルブの管理

- ・漏水等を防ぐため、定期的に点検をする

② 従業員に対する節水活動の徹底

- ・水道近くに節水を喚起する張り紙をし、節水を推進する

3. 廃棄物の削減

1) 一般廃棄物の削減（事務部門長）

① コピー用紙の裏面再使用の推進

- ・不要用紙の裏面を、社内資料用等に再利用する

② 資料用印刷等の低減

- ・確認用等の印刷は、データ上にて確認することにより、用紙消費の低減をする
- ・注文書等、控えとしての保管物は、極力縮小したもので作成する
- ・誤印刷を避けるため、印刷前に原稿内容を十分に確認する
- ・FAX 受信物のうち、電子メール添付等にて処理出来るものは、送信者に説明の上、電子メールに切り替えを依頼する

2) 産業廃棄物の削減（廃プラ・廃油・汚泥）（製造、自動車整備部門長）

① 廃棄物の分別・整理整頓の徹底

② 廃品のリユース、リサイクルの推進

4. 化学物質の適正管理（製造部門長）

① 施錠管理

③ 保管量（指定数量の 1/5 以下の保管）

5. 設計時の環境配慮（設計部門長）

① 設計時、極力端材を出さない様に設計を行う。

6. 地域社会とのコミュニケーション（環境管理責任者）

① 朝の周辺活動はゼロの日（月 3 回）実施する。

6 (1) . 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

- ・ 取り組み開始から 12 ヶ月間、計画通り実施できました。

取り組み目的及び実施評価結果表 (2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)

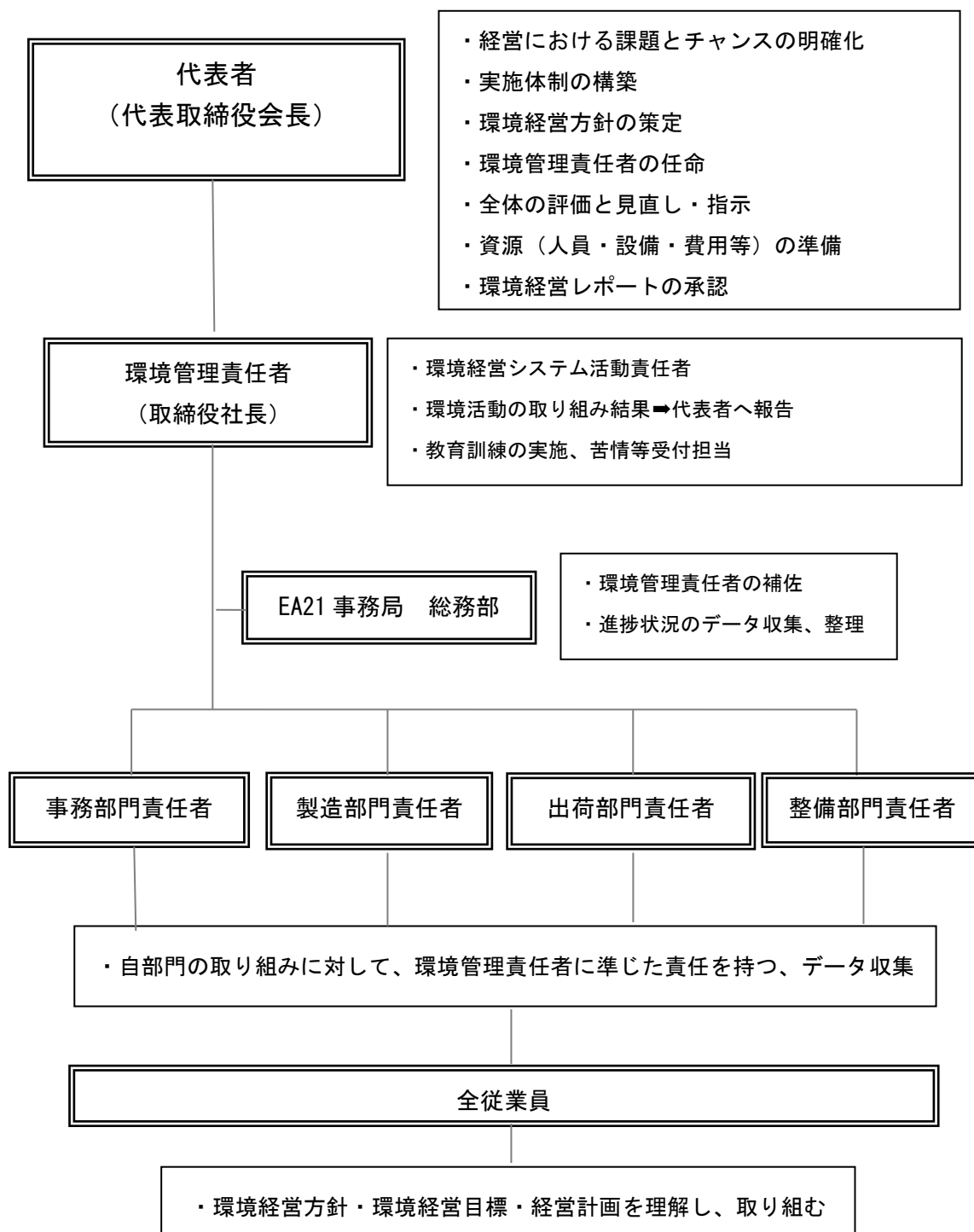
部署	目 的	実施時期 (月毎)	2023 年						2024 年					
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
総務部	不要な照明を消す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	空調機器の温度の適正化及び清掃		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OA 機器電源の管理		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	厨芥及び飲食缶類の削減 紙使用量の低減		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安全パトロールによる点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
営業部	エコドライブの推進		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不要な照明を消す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	空調機器の温度の適正化及び清掃		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OA 機器電源の管理		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	厨芥及び飲食缶類の削減 紙使用量の低減		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
製造部	安全パトロールによる点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エコドライブの推進		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不要な照明を消す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	空調機器の温度の適正化及び清掃		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OA 機器電源の管理		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	厨芥及び飲食缶類の削減 紙使用量の低減		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安全パトロールによる点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○＝実施 △＝一部未実施 ×＝未実施 該当しない場合は斜線

6 (2) . 実施体制

作成日 2023 年 6 月 28 日

改定日 2024 年 10 月 4 日



*2024 年 8 月 28 日の株主総会にて役員変更の為、2024 年 10 月 4 日を改定日としました。

7 (1) . 環境経営目標の実績

取り組み実績期間は 2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

項目		単位	2022 年度	2023 年度	2023 年度	基準比 増減率	評価
			基準年	-2%	実績		
電力(工場)	使用量	kWh	24,409	23,921	24,106	-1.24%	△
	CO2	kg	11,032	10,811	10,896		
電力(事務所)	使用量	kWh	7,192	7,048	6,387	-11.19%	○
	CO2	kg	3,250	3,185	2,886		
灯油	使用量	L	879	861	582	-33.79%	○
	CO2	kg	2,188	2,144	1,449		
ガソリン	使用量	L	6,884	6,746	6,995	1.61%	×
	CO2	kg	15,970	15,651	16,229		
軽油	使用量	L	1,965	1,926	2,647	34.71%	×
	CO2	kg	5,069	4,968	6,829		
都市ガス	使用量	m3	3	3	15.1	5 倍 (400%)	×
	CO2	kg	7	7	22.0		
CO2 総量	排出量	kg-CO2	37,519	36,769	38,297	2.07%	×
水	使用量	m3	113	111	99	-12.39%	○
産業廃棄物	廃棄量	m3	6	6	6	0.00%	△
一般廃棄物	廃棄量	m3	102	100	94	-7.84%	○
化学物質 *	-	・施錠管理 ・保管量管理					
環境配慮した設計	-	・設計時、端材を少なくする設計を行った。					
地域社会との コミュニケーション	周辺 清掃	回/月	3	3	3	注 1	

注 1：朝の周辺活動(工場周辺清掃等)はゼロの日(月 3 回)実施しました。

* 基準年度の数値は 2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日の実績値としました。

* 化学物質の保管庫の新設・指定量の明示を行い適切な保管量管理、施錠管理しました。

* 購入電力の CO2 排出量は中部電力㈱の平成 30 年度の調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWh を使用しました。

* 増減率計算式 = (実績/基準値 × 100 - 100) %

評価 ○ = 目標を達成出来た (目標値同等か基準値より少ない)

△ = 目標達成まではいかなかった (基準値より少ないが、目標より多い)

× = 達成出来なかった (基準値より多い)

7 (2) . 環境経営計画の取り組み結果とその評価

環境経営目標	目標達成への取り組み	取り組み結果	評価
電力使用量の削減	・空調温度の適正化 (冷房 28℃暖房 22℃)	・酷暑が続くエアコンを使用した。	△
	・冷暖房機のフィルター清掃	・酷暑が続くエアコン使用し、熱中症対策をした。	○
	・使用していない設備電源 OFF	・休憩中、消灯を徹底した	○
	・昼休み・退社時の消灯徹底	・スイッチ類に掲示物を張り個々に意欲をもたせた	○
ガソリン・軽油の使用量削減	・アイドリング STOP	・遠方の県外出張が多く軽油使用量が増えた。	△
	・納入ルートの見直し	・ガソリン車の使用を極力避け、燃費の良いディーゼル車を使用した。	○
	・無駄な空ふかしをやめる	・0の日の清掃後、全車両点検し消耗品交換を事前に出来た。	○
	・エコ運転の徹底		○
CO ₂ 排出量削減	・電力、ガソリン軽油、灯油の削減	・使用量が大幅に減少した	○
一般廃棄物の排出量削減	・私物ゴミは各自持ち帰る	・各自持ち帰るようになった。	○
	・分別の徹底	・図面等の裏紙使用を徹底した事で古紙排出が低減した・分別も各自で出来るようになった。	○
	・裏紙再利用の徹底		○
産業廃棄物の排出量削減	・分別 BOX の見直し	・廃棄物の仕分けを強化する	○
	・収集業者との分別収集交渉	・梱包材を極力無くすよう納入業者と交渉した結果、産業廃棄物の削減になった。	○
上水使用量の削減	・水道漏水の定期的な確認	・売上高減少により使用量減少	○
	・掲示物による節水意識向上	・バルブの閉め忘れを徹底した	○
化学物質適正管理	・保管庫管理（施錠管理）	・保管庫・保管量を適正に管理できたので継続	○
	・保管量（指定数量 1/5 以下の保管）		○
環境配慮した設備設計	・端材を出さない設計 ・紙使用を減らす（データで送る）	・設計段階で部品の共有化、在庫品使用を継続している・又、端材が激減した	○
環境美化活動	・会社周辺の地域清掃実施（ゼロの日毎月/3 回）	・社員全員で清掃活動を継続中	○

評価 ○＝実施 △＝一部未実施 ×＝未実施 該当しない場合は斜線

7 (3) . 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- ・次年度の環境経営目標は、「環境経営目標の通り」とし、次年度の環境経営計画は、「当初設定の環境経営計画を継続して」実施します。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の

結果並びに違反、訴訟などの有無

作成日 2023 年 6 月 28 日 評価日 2024 年 10 月 4 日

作成・評価者 西村 寛

法規制等の名称	遵守・管理項目	遵守
廃棄物処理法	・ 委託契約書の締結	○
	・ 産廃収集運搬・処理業許可証の確認	
	・ 保管場所に掲示板を設け必要事項の記載	○
	・ 廃棄物の飛散・流出・地下浸透の防止	○
	・ マニフェストを発行し、5 年間保管する	○
	・ 前年度のマニフェスト交付状況等の報告	○
	・ 年度現地確認する（優良認定業者に委託している）	○
家電リサイクル法	・ 家電リサイクル業者へ引き渡す	—
フロン排出抑制法	・ 業務用エアコンの四半期ごとの簡易点検 (0.95kw) X11 台	○
騒音規制法 振動規制法	・ 定格出力 7.5kW 以上（設置届）規制基準の遵守 （市街化調整区域）昼騒音 60dB 振動 65dB	○
高圧ガス保安法	・ 取扱い技術的基準を遵守 （アルゴンガス・アセチレンガス使用）	○
消防法	・ 危険物貯蔵指定数量の適正管理 （灯油保管数量 200ℓ 未満、シンナー 40ℓ 未満）	○
下水道法	・ 油水分離槽の適正管理	○
PRTR 法	・ 化学物質の排出に関する情報を国が 1 年ごとにまと めて公表する制度 ・ 常用雇用者 21 人以上、年間取扱量 1 t 以上	○

- ・ 環境関連法令の違反、訴訟及び近隣住民等からの苦情等はありません
- ・ 環境関連法令は、年 1 回、年度初めに環境関連法令の改定等の有無をチェックする
- ・ —表記は、今期関連法規に該当なし（尚、PRTR 法は数値的に対象外だが管理する）

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境管理責任者による見直しに必要なコメント	作成者：西村 寛
	作成日：2024 年 10 月 4 日
1. 環境目標の達成状況 ・ 2022 年基準年はコロナ化で 2021 年より大幅に削減できた年なので各所で達成できなかった要因もあります。 ・ 電力工場は猛暑が続き体に悪影響が出ないようエアコンをつけさせこまめに水分補給とエアコンのかかった部屋で休憩をさせました。 ・ 県外への出張工事が重なり軽油使用量 34.7%増となった。交通公共機関使用も、検討していきたい。 ・ 都市ガス使用量 5 倍増の理由は車両整備に関する洗浄用温水使用による使用量増となった。(マフラー洗浄の依頼が増えた為) 2. 環境活動計画の実施・運用結果 ・ 一人一人がエコ意識を日常的に行っているため、環境経営計画の実施・運用も正しくおこなわれていると思います。産業廃棄物の分別も互いに注意している面も見受けられるようになりました。 3. 環境関連法規の遵守状況 ・ 環境関連法規等の違反はありません。 4. 外部からの環境関連の苦情や要望 ・ 苦情や要望等はありません。	

代表者による変更の必要性の判断	評価見直し者：代表者 原田 龍馬
	記載日： 2024 年 10 月 4 日
1. 環境経営方針の変更 ☐有・☒無 2. 環境経営目標の変更 ☒有・☐無 3. 環境経営計画の変更 ☐有・☒無 4. 実施体制の変更 ☐有・☒無 ○変更の場合は必要な具体的指示事項 環境経営目標を 2022 年実績値基準年とし 2025 年度まで-4%としました。	